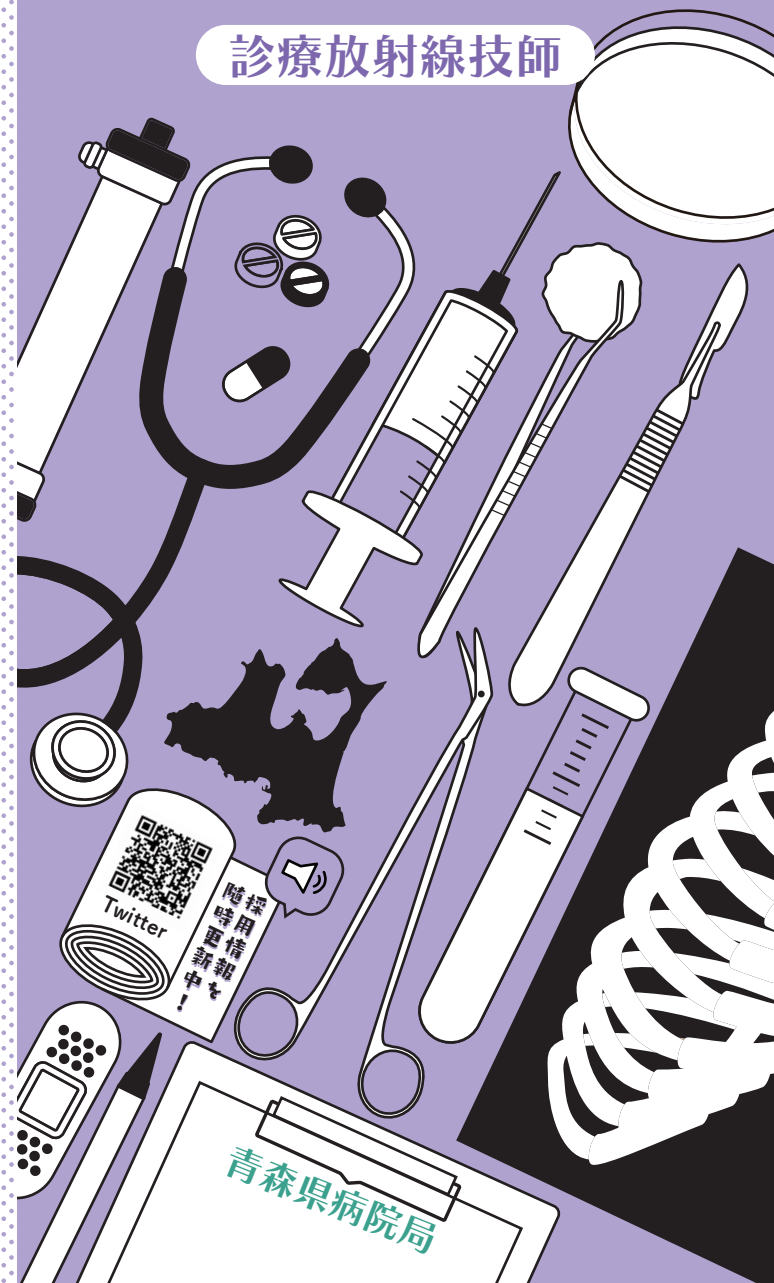


診療放射線技師



勤務条件(福利厚生)

■ 勤務時間と週休日

〈日勤〉
8:15~16:45(休憩45分)
〈準夜勤〉
16:15~0:45(休憩45分)
〈深夜勤〉
16:15~8:45(休憩60分)

週休日 4週8休

■ 給与について*

新卒者給与月額(基本給)	
大学生	188,400円
短大3卒	177,400円
勤続5年(年収) 420万円*	
勤続10年(年収) 510万円*	

※ 各種手当を含みます。

■ 手当について*

- 放射線取扱作業等手当
- 通勤手当
- 住居手当
- 扶養手当
- 寒冷地手当
- 単身赴任手当
- 時間外勤務手当

など

■ 福利厚生

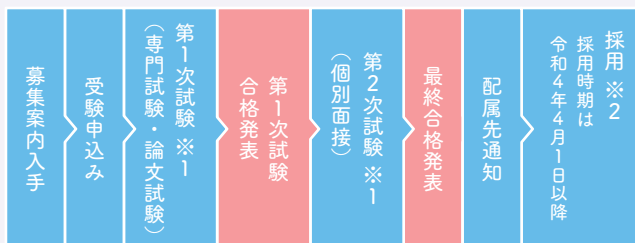
- 共済組合(年金・保険)
- 厚生会(貸付、助成)
- 食堂
- 院内保育所

など

人事異動について

人事異動は、年1回の異動希望調査を通じて、本人の希望、適正、経験などを考慮した異動が行われます。昇任は、本人の勤務成績などを考慮して行われます。

採用までのプロセス



※1 合格者全員に書面で通知するほか、合格者の受験番号をホームページに掲載します。

※2 受験資格に定める資格・免許を取得できなかった場合は採用されません。

採用試験の詳細については、4月頃に青森県立中央病院HPに掲載予定です。

県病Q&A

Q1 院外研修に対して補助制度はありますか？

A 院外研修は、本人の希望を取り入れています。研修は出張扱いとなり、交通費と宿泊費は病院が負担します。

Q2 保育所はありますか？

A 県立中央病院の敷地内に職員の子育て支援及び医療従事者の確保・定着を目的として、職員が利用できる院内保育所を設置しています。対象園児年齢は0歳(生後8週)から就学前の乳幼児で、開園時間は7:00~22:00です。



Q3 近くに駐車場はありますか？

A 職員は許可を受けることで、病院敷地内および近隣の駐車場を無料で利用することができます。

青森県立中央病院

〒030-8553
青森県青森市東造道2丁目1-1
〈TEL〉017-726-8111 〈FAX〉017-726-8325

〔病床数〕684床
〔職員数〕1,547人(令和3年2月現在)
〔1日平均外来患者数〕1,267人(令和元年度実績)
〔1日平均入院患者数〕560人(令和元年度実績)



募集内容
試験日程



子育てしながらのキャリアアップ



先輩からのメッセージ

診療放射線技師

2012年採用
茨城県立医療大学卒業
職種：診療放射線技師
資格：検診マンモグラフィ撮影
認定診療放射線技師

青森県病院局職員を選んだ理由について

青森県の基幹病院として診療科も豊富で業務内容も多岐にわたるので様々な経験を積むことができるのではないかと考えて希望しました。

現在の主な業務について

現在はMRI検査やマンモグラフィを主に担当しています。また画像管理部門の一員として地域医療における画像連携やネットワーク構築業務にも携わっています。当院の放射線技師としては、この他にもCT検査や血管撮影検査、PETを含む核医学検査、放射線治療部門など業務内容は多岐にわたります。

日々の業務で心がけていることについて

精密検査やフォローアップなど不安な気持ちで検査に来られる患者さんが多いので、少しでも安心して検査を受けてもらえるように笑顔と丁寧な態度を心がけています。

検査は正確かつ安全でスピーディーに行わなければならない緊張の連続ですが、正確な診断から治療につながったときにはやりがいを感じます。



泉病の教育・研修体制について

私は育児休業明けからMRI検査部門の配属になりましたが、仕事と家庭の忙しい毎日の中でもたくさんのサポートを受けて研修期間を乗り越えました。全部門で養成プログラムが整っており、学会・研究会での発表チャンスも多く、先輩方の手厚いサポートもあります。また読影室の医師とのカンファレンスで知識を身につけていける環境も整っています。

子育てしながらキャリアアップ

当院ではライフステージに合わせた働き方を選択でき、どのステージでも自分のStep upが可能な職場です。院内保育所をはじめ職場内のサポートも充実しており、私自身2人の子育てと仕事との両立が大変な時もありますが、周りのスタッフに助けられながら、やりがいを感じて業務に当たることができています。今後は磁気共鳴専門技術者の資格にチャレンジしたいと思っています。

とある1日のスケジュール



業務内容について

青森県立中央病院での主な業務について

1. 診療業務

<X線撮影>

胸腹部・全身骨・組織の撮影

<透視>

X線透視下で行う消化器、整形、泌尿生殖器領域の撮影

<骨塩定量>

骨密度の検査

<術場イメージ>

術中X線透視撮影

<CT>

X線による人体の輪切り画像の撮影

<MRI>

磁場と電波を用いた人体の任意断面の撮像

<血管撮影>

X線を用いた脳・消化器・心臓・四肢等の血管の撮影

<RI>

放射性医薬品を用いた人体生理機能の画像検査

<放射線治療>

放射線照射による疾患の治療

<画像処理>

各種検査で得られた画像を処理・解析し疾病の診断に必要な情報を提示

2. 管理業務

<画像管理>

各種検査で得られた画像の適正化・管理

<線量被ばく管理>

人体に照射する放射線線量の最適化

<放射線機器管理・品質管理>

各種検査で使用する機器の精度や安全性の管理

様々な舞台で活躍する診療放射線技師

臨床MRI安全管理チームなど

診療放射線技師は、ある患者さんが入院し、退院するまでの間に、画像検査、他施設画像データの取り込み、固定具の作成、治療用CT撮影、治療計画の検証、機器精度管理、術中・術後の透視・撮影、放射線治療、画像データのコピー・提供などを担い、チーム医療を支えます。

また、医療被ばく安全管理委員会が中心となり、院内関係者向けの診療用放射線の安全利用に関する研修を実施するなど、医療放射線の安全利用に関する知識提供を行っています。

こんな資格を持つ職員が働いています!

放射線治療品質管理士、放射線治療専門放射線技師、第1種放射線取扱主任者、医学物理士、X線CT認定技師、血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師、救急撮影認定技師、医療情報技師、医用画像情報管理士、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師、放射線管理士、DMAT研修修了者、磁気共鳴専門技術者、放射線機器管理士など

新採用職員への研修体制について

当院では、同じ診療放射線技師であっても、放射線診断部門と放射線治療部門では別々に組織され、仕事内容が異なり、多岐にわたります。定期的に両部門の人事交流を実施して個人のスキルアップを図っています。

部内でもセクションごとに養成プログラムが整っており、毎日指導者と研修記録をやり取りすることにより業務上の疑問点を日々解決できる体制となっております。

小さい研究会から大きな学会まで発表できるチャンスがたくさんあり、先輩職員がサポートします。

扱う代表的な機器

X線撮影、透視、骨塩定量、CT、MRI、血管撮影、RI、PET-CT、放射線治療各装置

オススメ

検査内容、治療内容が多岐にわたるため、多くの経験を積むことができます!

<MRI安全管理>

MRIの体内デバイスに対する安全管理

<医療従事者の被ばく管理>

職員の医療被ばく管理および低減対策

<医療従事者の被ばく管理>

職員の医療被ばく管理および低減対策

<ネットワーク関連業務>

院内の画像配信に係る業務